

オリーブの会通信

2012年8月7日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0078 高松市今里町一丁目499-2
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



第122回月例会ご案内

日 時	2012年8月26日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 第1・2研修室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30~15:00 講演「SAD(社交不安障害)について」 ・講師 メディカルカウンセリングルーム たなかクリニック院長 精神科医 田中和孝氏 15:00~15:10 休憩 15:10~15:20 報告・連絡(川井) 15:20~16:30 小グループに分かれての話し合い
参 加 費	・会員 1家族 1,000円 ・非会員 1家族 1,500円

残暑お見舞い申し上げます

こよみの上では8月7日が立秋ですが、まだまだ暑い日が続いております。お元気でお過ごしでしょうか。7月29日(日)四国ブロックの幹事会が徳島で開催されました。全国大会の議題でもあり、当会にとっても課題である居場所作りについては、特に高知やいろ鳥の会が県の助成金を受けて、四国初のひきこもり者の居場所も兼ねた小規模作業所の取り組みに、他の三県は聴き入るばかりでした。若者と一緒に是非一度見学したいと思っています。

重要事項のお知らせ

【高松市との協働企画提案事業のご案内について】

9月2日(日)高松市との協働企画提案事業「地域でひきこもりを考える」の講演会&ディスカッションとワークショップの同封チラシをもってご案内とさせていただきます。

【事業の目的】

ひきこもり問題に関し、広く市民に知ってもらうきっかけを作る。背景として「ひきこもり」の実情がよく知られていないこと、一部には誤解や偏見もある。課題としては、ひきこもり問題を打開するための方策の一つは「ひきこもり」というのは一体どういうものなのか市民の理解を深めることである。しかし、その前にご家族で困り込まないでご参加いただきますよう、そして立場の違う人達との交流の場になればと願っています。

日 時	2012年9月2日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	高松市保健センター 高松市番桜町1-9-12 Tel 087-839-2363
内 容	13:30~15:15 講演「地域でひきこもりを考える」 ・講師:立命館大学産業社会学部教授 山本耕平氏 ディスカッション ・指定討論者:香川大学アーツ・サイエンス 研究院教授 竹森元彦氏 —休憩— 15:30~16:30 ワークショップ ◎当日のワークショップについては、竹森先生から説明していただきます。 参加者を5~8人程度のグループに編成し、グループ単位で自己紹介やKJ法(付箋紙に困っている点、意見、自分たちに何が出来るかなどを書いてもらう)を行う。

【ワークショップの事前研修】

8月26日（日）の午前中に実施するワークショップについては、7月の月例会時に周知いたしました。下記の日程で事前研修を行いますので、ファシリテーター（司会者）の役を依頼されている方は、必ずこの事前研修会に出席いただくようお願い致します。

なお、ファシリテーター（司会者）以外の方についてもご参加できますので、ご希望の方は8月15日迄に予めご連絡ください。連絡先：090-4332-3288（川井）

日 時	2012年8月26日（日）11:00~12:00
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 第1研修室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
指 導	香川大学アーツ・サイエンス研究院教授 竹森元彦氏
参加費	無料

【7月例会（7/22）の報告】

◇川井理事長の報告・連絡

1. 7月29日徳島で開催されるKHJ四国ブロック幹事会の件
2. 9月8日（土）・9日（日）、京都で開催される第7回KHJ全国代表者研修会の参加の促進（現在出席予定者：川井理事長はじめ5名）
3. 県青少年育成支援ネットワーク研修講座参加申込みの件
4. 平成24年度 不登校・ひきこもり親の集い9/12（水）の周知（西讃保健福祉事務所）
5. 高松市市民活動センター移転オープニングイベントに絵画、絵手紙出展の件



◇学習会

学習会においては、「無条件の肯定的関心が基本」と題してKHJ徳島県つばめの会副会長 臨床心理士 浅田みちる氏による講演が行われ、後半は小グループに分かれての討議が行われました。（出席者数：26名、うち男性7名）

（講演の要旨）

- ・「無条件の肯定的関心」は、アメリカの心理学者ロジャーズが創始したクライアント（相手方）中心療法の中で重視される治療者の態度であり、①純粋さ（自己一致、真実さ、透明さ）、②無条件の肯定的関心（ケアリング）、③クライアントの内部感情への共感的理解とその伝達（感受性豊かで評価しないことを体験し、かつ相手に伝えること）の中のひとつ。
- ・それはクライアントの体験の全ての側面を、非難、批判、支持、同意などせず、クライアント自身のものとして、そのまま暖かく受けとめてゆく態度であり、そこには、受けとめるかどうかという、カウンセラー側の評価のいかなる条件も存在しない。

- ・ロジャーズは治療者の専門的知識や診断技術よりも人間的態度を重視する。
- ・ひきこもり状態にある子どもたちは接する人が限られるだけに親の子どもに対する態度は極めて大切、いつも一緒にいる親が自分に対して良い悪いの判断をしないで気持ちを受け止め聴いてくれるたらどんなに楽か。
- ・私の話を否定せずに関心を持って丸ごと受け止めてくれ気持ちを十分に聴いてくれる人の側に私は心地よい時間を過ごせる。
- ・しかし、親は子どもに対する理想がありこうあってほしいという気持ち・考えを拭い去るのがなかなか難しい。
- ・親はカウンセラーと異なり特定時間の対応では済まないため自分の意見を言わないでは対処できないという限界がある。しかし、意見が押し付けにならないように気をつけなければならない。
- ・人は自分の気持ち、考えを話すことで元気になる。しかし、聴いてくれない人には話さないし、たとえ聴いてくれても否定されたら話したくなくなります。特に、自信をなくしているひきこもり状態の子どもたちは口を閉ざしてしまう
- ・親は治療者ではありませんがそれ以上の力があります。親が毎日精神的余裕をもち、無条件の肯定的関心をもって子どもたちに接することができれば親子のコミュニケーションはうまくいくようになるはず。
- ・親に精神的余裕がなく自分自身がしんどい時は距離をとることも忘れないように。
—講演の途中、出席者が3人編成のグループに分かれ、当事者、親、第三者の役割でロールプレイが行われました—

◇その他の報告

- (1) 6月16日に引きこもり問題をテーマとしてジャーナリストの池上正樹氏ほかにより企画された「フューチャーセンタープログラム」が神戸で開催され、出席者された平野明子氏から概要報告がなされました。
- (2) 小豆島地区の発達障害の子ども親たちの自助グループ「クレヨンの会」の発足に関して、準備に取り組みされてきた臼井俊美氏（オリーブの会会員）から、これまでの経緯と現状についての説明がなされました。

【ポパイの会（ボウリング） 7/8（日）】

7月のポパイの会は、ボウリングに行ってきました。

一度 居場所に集合して、先にグループ分けなどをした後、車に分乗して、大洋ボウルへ。3つのグループに分かれて、2ゲームをしました。経験者あり、初心者あり、ストライクがでると、喜び合うメンバーの姿がありました。

また、居場所に戻って、お茶を飲みながら感想などを話して解散しました。

一緒にスポーツをして、メンバー同士のつながりが深くなった感じがしました。

8月12日(日)のポパイの会は、お菓子作りが得意な若者のレシピでクッキー作りを、秋以降にPCの組み立てを予定しています。

【高松市市民活動センター移転オープニングイベントに絵画、絵手紙出展】

8月1日（水）のオープニングイベントに若者2名が絵画、絵手紙を出展しました。暑いなか前日の午後より持込み、自分たちで与えられたスペースのなかで飾りました。（四番丁小学校跡施設内）

きれいな明るい色使い、また細かい繊細な筆遣いが写真からは見てとれないのが残念です。

また、杉野氏はじめ市民活動センターの方々には大変お世話になりました。有難うございました。（写真提供 杉野氏）



【8月 居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第4回運営委員会	5日	日	13:30～	川井
個人カウンセリング（松田先生）	11日	土	9:00～	加藤
ポパイの会（クッキーづくり） <u>みんなで楽しく 作って、食べて、おしゃべりしましょう！</u> *男女とも参加可能です ・13:30までに居場所へ集合 ・車に分乗して、 はーもにー へ。 高松市太田上町228（医療生協） ・持参するもの タオル、エプロン ・参加費 500円	12日	日	13:30～	森下

【9月 居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第5回運営委員会	16日	日	13:30～	川井
個人カウンセリング（松田先生）	22日	土	9:00～	加藤
ポパイの会 パソコンの組み立て	未定		13:30～	森下

【124回 月例会予定】

日 時	2012年10月21日（日） 13：30～16：30（受付：13:00～）
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 研修室
内 容	全国大会の分科会の報告 特に他県の居場所の取り組みについて（予定）
担 当 G	Aグループ

【講演のおしらせ】 主催：愛媛県心と体の健康センター Tel 089-911-3883

日 時	2012年10月6日（土） 14：00～16：00
場 所	国際ホテル松山 2階 離宮の間 松山市1番町1-13
講 師	中垣内 正和 氏（医療法人佐潟荘 理事・副院長）
内 容	『ひきこもりからの回復 親の10のステップ』 －専門医が示す家族にできること－
対 象	ひきこもりに悩む家族、保健所・市町職員
参加費	無 料
申込み	オリーブの会としてまとめて申込みます。締切 9/21（金） 申込み：川井まで

以 上